



## 西階中学校・よのなか教室(5回連続) Part I

～コロナ禍でも学びを止めない、継続した取組の紹介～

西階中学校の2年生は、昨年度から、連続したよのなか教室を行っています。昨年度は6回、本年度は5回のよのなか教室を実施し、多くの講師のお話を聞いたり、生徒同士の対話を行ったりしました。ここ数年のコロナ禍での実施は難しいところもあったと思いますが、取組までに至った経緯や配慮した点などを、2年生学年主任の飯干留美先生にインタビューしましたので、ご紹介します。～飯干先生、お忙しいところ、有り難うございました!!～

### ○どのようにして、昨年度から継続したよのなか教室を実施することができたのですか？

本年度の総合的な学習の時間の構想を立てるときに、昨年度の取組を参考にして考えました。昨年度の担当の先生から、「子どもたちが、よのなか教室を楽しみにしていた」、「思考力や表現力が向上した」など、多くの成果があったことを聞き、学年で協議し、本年度も連続したよのなか教室を実施しようということで進めてきました。

本校では、3年間を通じた総合的な学習の時間の流れの中で、キャリア教育がとても重要であるという認識の下で学習計画を立てています。3年生に向けて学習内容を充実

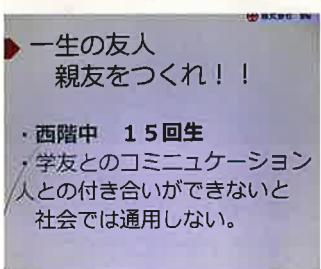
させるという点からも、よのなか教室を実施してよかったです」と思いました。講師の依頼や学習活動の検討など、キャリア

教育支援センターのご協力があったのもとても助かりました。ただ、コロナ禍で、全体で集まる機会が制限され、子どもたちが話を聞くということに慣れていないのではないか、そのために、講師の方にご迷惑をかけるのではないかという危惧もありました。確かに、最初の頃は、集中力が少し足りないという場面もありましたが、回が進むにつれてしっかり聞けるようになったので、やはり経験を積むことが大事だと思いました。

### ○コロナ禍でよのなか教室を実施するにあたり、どのような点に留意されましたか？

消毒、換気を徹底しました。また、子どもたちが密にならないように、複数の教室を使って分散してよのなか教室を実施しました。コロナ感染が拡大した場合は、延期して実施するなど、講師の方のご協力を得ながら、柔軟に取り組めたこともよかったです。

### ○よのなか教室を実施した後の子どもたちの変容について教えてください。



よのなか教室の実施に当たっては、司会や講師の案内など、子どもたちに毎回役割を与えました。最初はしり込みしていましたが、それが当たり前になると、進んで役割を担おうとする子どもが増えてきました。子どもたちの出番を作ることにより、子どもたちの自主性や責任感が養われ、自信をつけることができましたので、大きな経験になったと思います。

文化発表会では、よのなか教室で聞いたことや学んだことを新聞にまとめました。5回実施したよのなか教室を振り返る機会になりよかったです。今後は、修学旅行や立志式などでも、関連して将来に向けての生き方等を考えさせていきたいと思います。

### ○5回のよのなか教室を振り返って感想等をお聞かせください。

子どもたちが、たくさんの講師の方のお話を聞き、職業のことだけではなく、多様な生き方に触れることができたのは、大変意義があったと感じています。子どもの願いや思いを大切にし、校長先生の「やれることをやれる範囲です」というリーダーシップのもと、今後も、継続して取り組んでいきたいと思います。

※5回連続のよのなか教室をコーディネートされた敷石輝幸さん(延岡市キャリア教育支援センター コーディネーター)の感想です。

昨年の担当の先生からよくつないでいただき、校長先生の強い思いのもとに、コロナ禍で大変な中、タイミングを見ながら今年も実施していただけたことを大変嬉しく思います。

生徒の感想文からも、講師の方々には手ごたえを感じ取っていただけたものと確信しています。すべての生徒が、このような体験ができるることをお願いしたいところです。



【飯干留美子先生】



【敷石輝幸さん】

## 西階中学校・よのなか教室(5回連続) Part II

～実際の授業の様子～

1 6月9日(木) 13:45~15:25 序章「働くこととは」

講師 細川 真由美さん(みやざき若者サポートステーションキャリアコンサルタント)

内容 働くこととはどういうことなのか、社会に出て必要とされる力はどういうものかなど、働くことの意味を分かりやすく説明してくださいました。

2 6月17日(金) 13:55~15:45 第二章 職業人講話「失敗は成功のもと  
更なる挑戦」

講師 ①野中 直樹さん(株式会社 TANI 代表取締役)

②塚元 秀樹さん(延岡青年会議所 監事)

③原田 克彦さん(ベーカリー原田 店長)

内容 3名のよのなか先生に講話をしていただきました。「選ぶことの大切さ」

「やり続けることが大事」「一流のものに触れることが大事」など、生徒にとって心に残る言葉で熱く語ってくださいました。



3 6月24日(金) 13:55~15:45 第三章「夢をはぐくむ講演会」

講師 ①行政関係……長濱 浩人さん(延岡市商工観光部人材政策・移住定住推進室)

②ものづくり…黒木 保善さん(株式会社 昭和 代表取締役社長)

③建築・土木…奈須 亮次さん(上田工業株式会社 特例監理技術者)

④経済関係……瀧口 一喜さん(延岡信用金庫 企業支援課 課長)

⑤医療関係……佐藤 英樹さん(佐藤幹薬局 執行役員 薬剤師)

内容 5名のよのなか先生が、お仕事の内容やご自身の失敗談、仕事に就くために必要なことなど、生徒にとって、将来の進路を考えるうえで大変参考になるお話をしてくださいました。

4 7月11日(月) 13:55~15:30 第四章「哲学対話」

講師 ファシリテーター8名(甲斐 稲人さん・柏田 昭夫さん・福田 政憲さん・吉岡 俊彦さん・鈴木 なおさん・吉玉 泰子さん・敷石 輝幸さん・酒井 康行さん)

内容 12名ずつ8グループに分かれて、哲学対話を行いました。子どもたちにとって、ファシリテーターの進行で、他のクラスの生徒と自分の考えをちゃんと伝え合う、大変貴重な時間になりました。



5 10月14日(金) 14:05~15:05 最終章「君たちはどう生きるか」

講師 水永 正憲さん(延岡市キャリア教育支援センター長)

内容 水永さんは、「なぜ勉強するのか、なぜ働くのか」また、「自分にとって幸せとは何だろう」ということについて、中学生の今だからこそ考えてほしいと話されました。

今を、そして未来を生きていく子どもたちにとって、勇気の出るお話をでした。



【水永正憲さん】

～キャリア教育実践交流会～

次回は、1月19日(木)に実施予定です。



### 延岡市キャリア教育支援センター

〒882-0053 宮崎県延岡市幸町3丁目101番地延岡駅西口街区ビル3階 延岡商工会議所内

電話 0982-33-6666 FAX 0982-33-6682 <http://nobeoka-career.jp/>

水永正憲 ☎ 080-4002-8167 敷石輝幸 ☎ 080-6410-5539 酒井康行 ☎ 090-2587-7837

✉ mizmas228@gmail.com ✉ sate815@ma.wainet.ne.jp ✉ y351akre@ma.wainet.ne.jp